

## 小金井公園でお花見ウォーク

村田 潔（高10）記

今や、麗和会懇親行事の一つとしてすっかり定着した「お花見ウォーク」が、4月3日（金）、小金井公園で行われた。同行事は、毎年地元の見沼用水縁の桜を愛でていたが、さすがに今年は違う桜にしよう、ということで、東京国際ウォーク会場である「小金井公園」の桜を楽しむこととなった。

21日の開花（宣言）後、何故か花冷えの毎日となり、桜もすっかり縮こまり、正に足踏み。ところが、当日は今迄の寒さが嘘のように、風もなく、暖かい、絶好の花見日和となった。

西武新宿線小平駅を10時にスタート。早速、狭山・境緑道の桜に面会。この緑道は、もとは村山貯水池から境浄水場までの水道水路であった。その後、水道管が埋設され、その上を自転車・歩行者専用道路として整備された緑道で、桜のトンネルはもとより、五月（さつき）、山吹（やまぶき）、紫陽花（あじさい）、萩（はぎ）等が季節を彩る気持ちの良い散歩道である。途中、「小平ふるさと村」を訪ねながら4キロ、1時間ほどで小金井公園入り口に到着。満開のしだれ桜に迎えられ、園内へ。小金井公園は面積77ha（日比谷公園の4.7倍）の、都立公園として最大規模を誇り、公園内には「江戸東京たてもの園」等の施設他、5カ所の芝生広場がある。

春休みなので家族ずれで賑わう芝生広場をいくつか抜けながら、公園内を2キロ、30分程歩いて桜の園に到着。平日にもかかわらず、既に桜の下はシートを敷いた沢山の人々で一杯である。我々も何とか格好の場所を見つけて、早速宴会を開始。各人が持ち寄った酒とつまみで卓上は溢れんばかり。ビール、日本酒、焼酎、ウィスキーが登場し、こんなに飲めないと言いながら、2時間ほどで見事に平らげた。暖かかった故か、ウィスキーの水割りが人気であった。又、8人もいるといろいろなつまみがあるので、チーズを載せたラスクが珍しく、旨かった。その後、「江戸東京たてもの園」を見学し、武蔵小金井駅前の中華店「魯吃房」で打ち上げ。良く飲めるものである。

こうして今年の花見ウォークも好天気の中、すばらしい仲間と賑やかに楽しい一日を過ごすことが出来た。天気と桜の神様に深謝！！

参加者（敬称略）

五十嵐・半田（高6）、榎本（高8）、村田（高10）、結城（高11）、山田（高12）、佐々木（高13）、鈴木（高25）

